

授業科目名	一般社会科学(経済) I	開講年次	2年次以上	単位数	1
サブタイトル	ミクロ経済学の基礎固め	担当者	小川 竜明		
講義概要	<p><b>【概要】</b>  公務員への志は誰にも負けず、試験に合格するためなら労力は惜しまないという覚悟があり、「高校政治経済」または「高校現代社会」の経済的分野で学習した(はずの)基礎用語(例えば需要曲線や供給曲線など)であればほぼ理解できるという学生を対象に、本年度はミクロ経済学のうち「生産者理論」に重きを置いて学習する。具体的な内容は以下の「授業内容」に示した通りであるが、受講者の理解度を考慮しながら進めていく関係で、多少変更する場合がある。</p> <p>講義では、過去に出題されたものを一問一答の正誤判定形式に改めるなどして、問題文のどこを刮目すれば良いのかを掌握しやすいように工夫を施した担当者オリジナルの教材を配布し、それにしたがって進めていく。</p> <p>なお、専門試験で出題される複雑な計算問題については、原則として『公務員経済学 I・II』で扱う。</p> <p><b>【到達目標】</b>  公務員採用試験の問題(選択肢)の中から、迷いなく正答を選べる「本物」の学力を身につけること。</p>				
履修条件	真剣に、公務員採用試験合格を目指す者。必ず、第1回目の講義に出席すること。				
教科書・参考書	<p><b>【教科書】</b> 教科書は指定しない。当方でレジュメ(教材)を用意し、それにしたがって、講義を進める。</p> <p><b>【参考書】</b> 村尾英俊『公務員試験 最初でつまづかない経済学 ミクロ編』(実務教育出版)</p>				
授業回数	授業内容				
1	オリエンテーション、学力診断試験、【生産者理論の基礎(1)】完全競争市場と不完全競争市場				
2	【生産者理論の基礎(2)】収入(平均収入、限界収入など)				
3	【生産者理論の基礎(3)】費用(平均費用と限界費用、固定費用と可変費用など)				
4	【完全競争市場の理論(1)】短期の費用曲線、長期の費用曲線				
5	【完全競争市場の理論(2)】損益分岐点と操業停止点				
6	【完全競争市場の理論(3)】生産関数、等量曲線と等費曲線				
7	【完全競争市場の理論(4)】コブ=ダグラス型生産関数				
8	中間試験、解説				
9	【不完全競争市場の理論(1)】独占市場(1)(ラーナーの独占度)				
10	【不完全競争市場の理論(2)】独占市場(2)(差別価格)				
11	【不完全競争市場の理論(3)】複占市場(1)(クールノー均衡)				
12	【不完全競争市場の理論(4)】複占市場(2)(シュタツケルベルク均衡)				
13	【不完全競争市場の理論(5)】複占市場(3)(共謀)				
14	【不完全競争市場の理論(6)】寡占市場(屈折需要曲線の理論)と独占的競争市場				
15	期末試験、解説				
評価方法	中間試験、期末試験(いずれも、教科書やノート等の持込不可)の成績のみで判定する。				
評価基準	中間試験(50点満点)と期末試験(50点満点)の合計が70点以上。				
その他	<p>経済系科目は、他の科目以上に、高い学習意欲と強い忍耐力が求められる。以下の点に留意されたい。</p> <p>○真摯に講義を受ける学生の志気を下げるような行為(教室中に響く溜め息、大あくび、居眠り、私語、電子機器の使用等)を行った者には退室を命じるなど、厳正に対処する。</p> <p>○1回でも欠席や遅刻をすると、その回の学習内容が抜け落ちて、それ以降の学習内容を理解するのが非常に困難となる。要望があればそれを極力講義に反映させるとともに、受講者の理解度を考慮しながら進めていくので、講義への積極的な参加を願う。</p>				